



2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦七ヶ浜大会直前情報 一昨年優勝の大松が勝利へ自信

韓国から9名、オーストラリアから9名を含み、エリート男女42名が参加

7月5日(土)、宮城県七ヶ浜町湊浜海浜公園周辺の特設コースで6日(日)に開催される2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦・2008ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会を前に、七ヶ浜町中央公民館で有力選手が出席する記者会見が行われた。

出席したのは、サラ・クロウリー(オーストラリア)とジェームス・シーア(オーストラリア)に大松沙央里(トヨタ車体)、高濱邦晃(チームコラテック)の4名。司会は宮本光広JTU事業広報副委員長。

選手の紹介があった後、各選手から大会への意気込みと抱負が語られた。

その後、記者から4選手に向けて、多くの質問があった。

質問のなかには、「オーストラリアチームは、同じTシャツを着ているが、その意味は何か」というものもあり、それに対してオースト



記者会見に出席の4選手。右から大松、クロウリー、シーア、高濱の各選手。司会は、宮本JTU事業広報副委員長

大松 沙央里
トヨタ車体



七ヶ浜大会がジャパンカップになってからずっと出ている。いいレースも悪いレースもしてきたが、勝負所は一番分かっているの、頑張りたい。スイムのうねりの克服がポイント。バイクは最初から最大の力を出していく。バイクで力を使い切っても、ランで勝つ自信がある。

サラ・クロウリー
オーストラリア



日本の旅行もはじめてで、日本のレースもはじめて。新しく出会った選手たちとレースするのを楽しみにしている。住んでいるクィーンズランドが暖かいところなので、この気候は問題ない。スイムの練習も重ねてきたが、バイクが得意なので、バイク・ランで前へ出ていくレースがしたい。

JTU Official Sponsors & Official Partners



ラリアからの両選手は、「ヤング・ガン」という、オーストラリア・トライアスロン協会が主宰する若手選手開発プロジェクトについて説明があった。そのプロジェクトは、今年は10名の選手が入っていて、今回はそのうちの9名が日本に遠征に来ている。

オーストラリアチームは、このレースと次週のシンガポールでのレースに参加して、帰国する予定。

また、前週の幕張大会前から日本で合宿を続けている韓国チーム9名もこのレースに参加。女子のキム・ヒジョーは幕張大会で4位。男子のヘオ・ミンホも同大会で3位に入るなど、侮れない実力を見せている。

韓国チームは、この大会後、日本で3レースを経験した後に帰国の予定。

さらにこの大会には、女子で、中島千恵(トーチンパートナーズ・チームケンズ)、蔵本葵(東京ベルディ)、菊池日出子(チームブレイブ)らの若手有力選手が参加する。

男子では、昨年の日本選手権3位の杉本宏樹(チームブレイブ)と本大会での優勝経験のある平野司(NTT東日本・NTT西日本)、昨年の村上大会を制した犬童太一らが参加。男女とも熱戦が期待できる。

明日のスタートは、第14回みやぎ国際トライアスロン仙台ベイセツヶ浜大会が午前8時15分、エリート男子が午前11時、エリート女子が午後12時10分となっている。



明日のレースの健闘を誓う4選手

高濱 邦晃
チームコラテック



この大会は、何度も参加しているが、そのなかでもレベルの高い選手が集まった大会となった。優勝できるよう頑張りたい。明日は暑くなるだろうが、自分は暑ければ暑いほどいい。したがって、特別な暑さ対策はないが、得意であるという気持ちを生かしてレースができればいい。

ジェームス・シーア
オーストラリア



日本のレースははじめての経験。明日のレースは、タフなコースと暑い気候で厳しいものとなるだろう。強い日本選手や韓国の選手も参加するので、いいレースがしたい。暑さに関しては、好きなので、水を取りながらレースをしたい。6月の世界選手権の気温が12度だったので、暖かくていい。

JTU Official Sponsors & Official Partners

NTT東日本 NTT西日本

SAMSUNG

Kyorin JAL arena Amino-Value asics TAIHEI resoritrust ext-5 fieria SUBWAY
日通 Gakken 文化総合研究所 B&G DL KONAMI SHIMANO JBJA Canadian Crystals